

## 1-6 地域と関わりがあり多くの人が訪れる場

### 現地調査計画

#### 調査目的

地域と関わりがあり多くの人が訪れる場（以下「人々が訪れる場」という。）の調査は、事業実施区域及びその周辺における人々が訪れる場を抽出し、その利用状況の把握、事業実施による利用環境への影響検討を行うことを目的とします。

なお、「人々が訪れる場」とは、野外レクリエーション等、自然との触れ合いに関する地域活動が行われている施設又は場を示します。またここでは、経済活動を伴う利用は対象にしません。

#### 調査の方法

調査項目	調査方法
人々が訪れる場の調査	対象範囲における「人々が訪れる場」について、既存資料調査、聞き取り調査、現地踏査及び現地カウント調査により当該情報を収集し、分布状況、利用環境等を把握する。
人々が訪れる場の影響検討	事業計画との重ね合わせによる人々が訪れる場、及びその場を取り巻く地形や自然資源の改変程度や、利用性、快適性の変化など、「人々が訪れる場」に及ぼす影響を検討する。

#### 調査日程

調査項目	調査時期
人々が訪れる場の調査	平成 16 年 4 月～8 月

#### 対象範囲

調査対象範囲は、対象事業実施区域及びその周辺約 500mの範囲並びに沙流川合流部までの額平川の河川区域とします。

平成 16 年度調査結果

「人々が訪れる場」の分布

「人々が訪れる場」は、既存資料調査により「平取芽生すずらん群生地」が、聞き取り調査により釣りや山菜取りが抽出されました。対象範囲の現地踏査により、「平取芽生すずらん群生地」を選定しました。



図 1 人々が訪れる場の分布状況

すずらん群生地の概況

人々が訪れる場		人々が訪れる場の状況
平取芽生すずらん群生地	<p>平取芽生すずらん群生地(以下、「すずらん群生地」という)は、かつて、荒廃していた土地を 1970 年頃から約 10 年かけてすずらん群生地として整備したものであり、約 15 万㎡の面積は、日本一の広さを誇る。またすずらんの開花期にあたる 5 月下旬から 6 月上旬の開花期には、見渡すかぎりのスズランを鑑賞することができ、1984 年からは毎年、すずらん鑑賞会が開催されています。 (参考：全国地域観光情報センター)</p>	



写真 1 すずらん群生地の状況(鑑賞会開催期間)

### すずらん群生地の利用環境の状況

すずらん群生地は、「すずらん鑑賞会」が開催される期間（5月下旬～6月上旬）になると毎年、町内外から多くの人々が訪れています。近年は、旅行代理店、バス会社等によって、「すずらん観賞」を目的とした観光ツアーも企画されています。

#### （1）利用状況

すずらん群生地における「すずらん鑑賞会」の利用状況につきましては、平取町への聞き取り調査から把握しました。調査の結果、各年度の来訪者数は天候や開催日数（8～12日間）によるばらつきがありますが、年々増加傾向にあり、過去2年間はいずれも1万人を超えています。

一方、来訪者の特徴としては、平日に比べて休日の利用が多いことが挙げられ、1日あたりの来訪者数は休日が平日の約4倍以上、利用交通量は約5倍以上となっています。

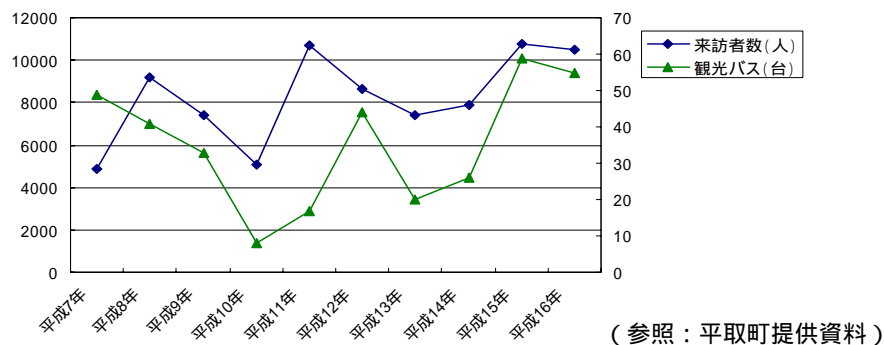


図2 過年度の来訪者数

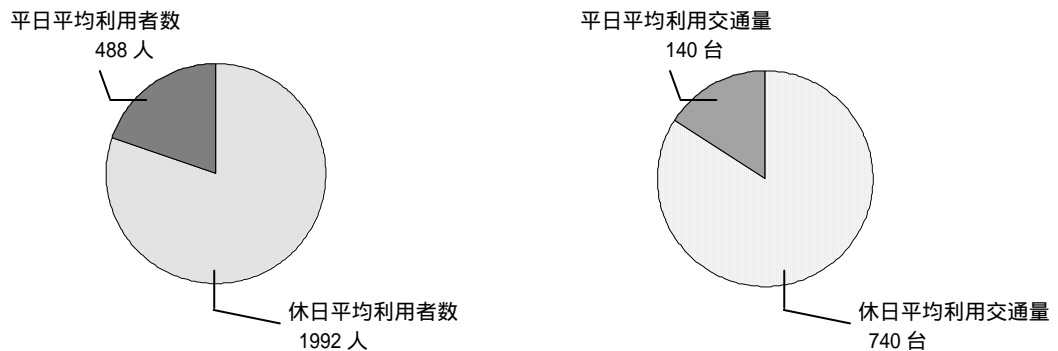


図3 本年度の平休日別平均来訪者数（1日あたり） 図4 本年度の平休日別平均利用交通量（1日あたり）

#### （2）来訪者数及び利用交通量

来訪者数及び利用交通量につきましては、現地カウント調査から把握しました。調査は、前記の「来訪者の利用状況」の結果を踏まえ、来訪者の多い晴天の土曜日に行いました。

調査の結果、来訪者数は12時前後がピークになっており、この時間帯は混雑していました。さらに観光バスが通過する際には、現況道路幅員の関係上、対面交通ができないため、交通規制が行われることも混雑の要因となっていました。

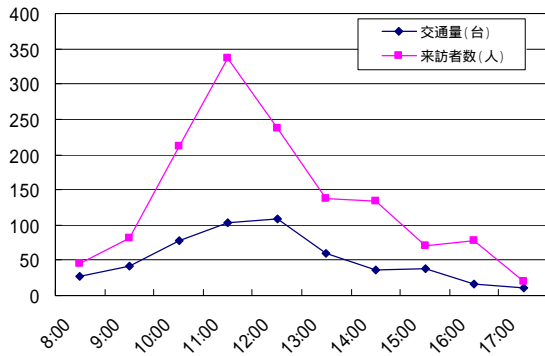


写真 2 混雑時の交通状況

図 5 時間別交通量及び来訪者数  
(調査日：平成 16 年 6 月 5 日 (土))

( 3 ) 利用交通経路及び利用交通手段

利用交通の経路は、道道芽生貫気別線と道道宿志別振内停車場線が利用されており、来訪者の 9 割以上が道道芽生貫気別線を利用しています。

利用交通手段は普通乗用車が全体の 9 割を占めています。また、交通車両の内訳では札幌ナンバーが全体の半数を占めています。



	交通量(台)	来訪者数(人)
道道芽生貫気別線	481 <93%>	1272 <94%>
道道宿志別振内停車場線	37 <7%>	79 <6%>

図 6 交通経路 (調査日：平成 16 年 6 月 5 日 (土))

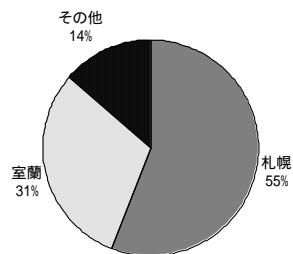


図 7 交通車両の内訳  
(調査日：平成 16 年 6 月 5 日 (土))

表 1 交通手段 (調査日：平成 16 年 6 月 5 日 (土))

交通手段	交通量(台)	割合 (%)
普通自動車	473	91.3
軽自動車	30	5.8
二輪車(原付含む)	6	1.2
観光バス	6	1.2
トラック(大型)	2	0.4
タクシー	1	0.2
自転車	0	0
徒歩	0	0
合計	518	100